



道祖土小

学校だより

校訓 明るく 仲よく たくましく

6月号 令和8年5月29日発行

〒336-0907

さいたま市緑区道祖土1-1-1

電話 048-885-2512

FAX 048-811-1328

Web <http://saido-e.saitama-city.ed.jp>

E-Mail saido-e@saitama-city.ed.jp

「仲よく」の実現に向けて

校長 荒木 大輔

今の時期に使われる時候の挨拶に、「青葉の候」があります。これは、「木々の葉が成長し、深い緑に包まれる頃」という意味があり、自然界の草木が青々と勢いよく生い茂る季節を意味します。季語は「夏」。言われてみれば、最近の太陽の日差しが、これまでより熱く・強く感じられ、登校時に、帽子をかぶる子どもたちが増えてきました。また、草木が青葉になるために、たくさんの水分を吸収する長雨の時期を待ちわびてか、いつも道祖土っ子を見守り続けているエノキの脇の紫陽花が、少しずつ、綺麗に色付き始めています。そろそろ、「入梅の候」「梅雨の候」が似合う、蝸牛の喜ぶ季節の到来の予感がします。



最新の気象予測によると、今年の関東地方の梅雨入りは、太平洋高気圧の勢力変化などの影響により、平年より遅くなる傾向が予想されていますが、子どもたちにとっての五月雨は、校庭で遊ぶことができない日が続く、気分のすぐれない、少し気が重くなる時期となります。そこで、本校の6月の生活目標は、「室内の過ごし方を、工夫しよう。」と設定してあります。校庭で思いっきり身体を動かすことができないからといって、室内や廊下で走り回ることなく、「梅雨の楽しい過ごし方」を子どもたちが自ら考えながら、ルールやマナーを守って、安全に楽しく、学校生活を送ってほしいと思います。

ところで、学校はなぜ、このような「生活目標」を、月ごとに設定するのでしょうか。それは、「子どもが目標をもつことで、日々の行動に意味をもたせ、よりよい生活にしようとする意欲をもたせることができる。」「子どもが目標への取組を通して、学校生活における迷いや不安を減らし、心身の健康やよい生活習慣を身に付けることができる。」といった目的があるからです。そして、この継続した取組の集大成こそが、本校の学校教育目標の「仲よく」の育成につながっているからです。本校が設定した各月の生活目標を確認すると、「自分のために」するだけでなく「相手のためにも」行う内容になっています。つまり、生活目標の実践は、自他を尊重し、自己を肯定することができる、「心の育成」にもつながっているのです。

さいたま市は、6月を「いじめ撲滅強化月間」と定めています。このことを受け、本校では、代表委員会が行う「いじめがない学校にするための取組」の検討と実践や、全クラスで行う『『ストップいじめ!』啓発スローガンの作成』、各クラスが自主的に行う登校時のあいさつ運動の実践といった取組を行います。勿論、本校教職員も、「いじめを、絶対にゆるさない」という毅然とした姿勢を示し、いじめを未然防止するための土壌づくりとして、学級内での子どもの「居場所づくり」と「絆づくり」を、強化月間にとらわれることなく日々進めてきております。そして、月ごとの生活目標への取組を通してはぐくまれる「自己有用感」や「自己肯定感」も、いじめを無くす基盤の一つとなっているのです。スポーツフェスタ（学校行事）で、子ども自らがつくり出していた「互いを認め合える人間関係」や「いじめが起きない集団意識」と同様に。

学校教育目標の「仲よく」を受けた本校の目指す子ども像は、「思いやりのある子」「人や命を大切にする子」「時を守り、場を清め、礼を正す子」の三つが掲げられています。特に、最後に示した子どもの姿は、本校の「生活年間目標」として、子どもたちが一年間続けて取り組んでいくよう設定されているものです。今月も、「生活目標」という視点に立って、子どもたちの自主的な挑戦と心の成長を、学校と家庭で共に見守り、支えてまいりましょう。